

行政相談解決事例

事例1 バス停乗降口の縁石が危ない。

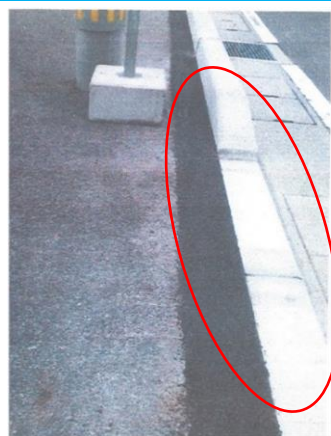
<相談要旨>

バス停（2～3箇所）の乗降口に縁石があるため、乗降の際につまずいたり、足を踏み外す危険性がある。特に冬は雪などで滑るおそれがあり、危険である。



<処理概要>

市建設課に相談内容を伝えたところ、バス停乗降口の縁石が撤去され、乗降の際の安全性が確保された。



事例2 熊が出没したので、注意喚起の看板を設置してほしい。

<相談要旨>

熊が出没したので、注意喚起をするための看板を設置してほしい。

<処理概要>

市に相談内容を伝えたところ、注意喚起の看板が設置された。



事例3 木の枝や葉が生い茂って、落葉・害虫被害が発生している。

<相談要旨>

マンション脇の河川敷にある緑地帯の木が生い茂り、枝がマンションの非常階段まで伸びている。また、落葉による掃除も大変で、害虫被害なども発生しているので、木を伐採してほしい。



<処理概要>

緑地帯を管理する国土交通省信濃川河川事務所に相談内容を伝えたところ、木が伐採されるとともに、河川敷の法面の雑草も刈られた。



事例4 電柱と車との接触事故が頻発しているため電柱を移設したい。

<相談要旨>

経営している店舗駐車場前の道路が狭い上に、電柱があることから、駐車場を利用する車が電柱に接触する事故が頻発している。何らかの対策を取りたいのだが、どうすればよいか。



<処理概要>

現地確認の上、東北電力に電柱の移設要望を伝えたところ、東北電力による現地確認が行われ、相談者の私有地への移設は可能であるとのことであった。相談者は敷地提供承し、電柱の移設が行われた。



事例5 通行時の障害となる規制標識を移設してほしい。

<相談要旨>

「30km/h」の速度規制標識が歩道の中央に設置されており、特に冬は歩道に寄せられる雪の影響もあり、歩行者は車道を歩行しないといけない。この道路は通学路となっていることから、標識を反対車線側に移してほしい。



<処理概要>

市や警察等と協議した結果、規制標識が撤去され、反対車線側に移設された。



※ 比較のため写真を加工しています。

事例6 県道の安全確認用ミラーを設置し直してほしい。

<相談要旨>

県道の安全確認用ミラーが雪の重みによって倒れてしまったため、設置し直してほしい。



<処理概要>

県に相談内容を伝えたところ、ミラーが設置された。

